

42. 体外循環中の血液分画の変動について

(Isotope による変化)

山浦 晶, 田宮達男, 郡山春男, 伊藤 力
(国立千葉病院)

体外循環中の血液成分変動を RISA を用いて測定したが, 気泡型人工肺に乳酸リンゲルを充填した症例群では, 灌流中早期より血漿量の減少が著明であるが, 回転円板型人工肺にヘマセルを充填した症例群では, 長時間の灌流にもよく血漿量を維持していることを認めた。動物実験にて, 灌流中の血漿量の変動は人工肺の因子よりもむしろ充填液により大きく左右され, 人工肺一充填液種々の組合せのうち回転円板型人工肺一ヘマセル群に最も変動が少ないことをたしかめた。

さらに, RISA を反復負荷する際の誤差に関し基礎実験を行ない, RISA の血中よりの消失が大きな要因となるため, 血管外濾出の少ない Cr^{51} でラベルした赤血球により赤血球量を測定する方法を同時に行なえば, より正確な測定が可能になることを知った。

43. 胃切除後の性欲及び性生活の変化について

吉川広和, 大和田操, 坂田早苗
(宇都宮外科病院)

75 人の男性胃切除術後患者を, 個人インタビューに依り調査した。

その結果次の様な傾向を見たので報告する。

① 術後男性患者の約半数に, 種々の意味で性生活の減退を見, しかも 30 代, 40 代に最も多く見られる。② 術前の愁訴が激しく, 術後の経過も良好であり, 社会復帰も問題の少ない例では, 亢進したと考える者が多い。③ 術前愁訴も軽度で, 術後多少共愁訴があり, 術後の経過も悪く, 社会復帰に問題が多少共ある例では減退を見, あるいは, 手術を受けたためと考えている者が多い。④ 術後の社会復帰, 就労状況に大きな問題を残した例には, 減退を見る。しかも, これを術後の体力回復が遅れている為と考えている例が多い。また, ここでも, 30 代, 40 代の年代層が圧倒的に多く見られる。

44. 大動脈弓欠損症の一治験例

堀部治男, 田宮達男, 郡山春男, 伊東和人
(国立千葉病院)

最近稀有な先天性異常である大動脈弓部欠損症に対し, 低体温下 Teflon 代用血管を移植することにより治癒せしめ得た一例を経験したので報告する。症例は過去 4 年にわたる頭痛を主訴とする 22 才の女子で, 上肢の

血圧に左右差があり, 両下肢の脈拍を欠如する。術前の血管造影で上行大動脈の末端から上方に向う分枝はあるが, 弓部は不明, かつ副血行路の発達が右胸部で著しい。Preductal Coarctation の極型と考え, 表面冷却法により直腸温 26°C で手術した。上行大動脈と下行大動脈間には直接の交通がなく僅かに盲管と化した動脈管を見出した。下行大動脈の上端は嚢状と化し, その中央部迄内腔が細いので, 径 2 cm 長さ 12 cm の Teflon 管を下行大動脈の太い所と端々に吻合した。術後経過は順調で 66 日に全治退院した。本症は極めて稀な疾患で, その手術成功例は文献上世界で 5 例であり, 特に本症例の様に Pulmonary-Ductus-descending Aorta trunk: PDDT 形成のない症例は少なく, 本症例は 4 例目である。

45. 精神病患者の手術経験

岡村隆夫, 近藤千春, 服部進也
(千里荘病院)

近藤病院にて 10 例の精神科患者の手術経験について。精神科疾患名は慢性アルコール中毒 3 例, 分裂病, 精神病質各 2 例で, 外科疾患名は子宮癌, 胃癌, 前立腺癌などである。精神科患者は長期にかつ大量に向精神剤を服用しているのが多く, そのためか麻酔の効果が非常に悪い。その他に術後管理などにおいて次の点に注意を払う必要がある。

- (1) 常に手術の適応を下げ苦痛のみの除去に努める。
- (2) 麻酔は出来るだけ全麻にて手術を行なう。
- (3) 患者との協力は考えないで術後, 手足を縛り自由を拘束する。
- (4) 術後は出来るだけ早期に自由になれるように努力してやる事。

46. 廻盲部癌と誤れる日本住血吸虫卵性腫瘍の 1 例

横山哲夫, 深町信一, 大川昭二
(深町病院)

植松貞夫

日本住血吸虫症はかつて各地にみられ, 千葉県東葛飾郡もかつて浸淫地帯とされていたが, 現在では完全に絶滅されたと考えられている。しかし, このような地域において, われわれは廻盲部癌と診断, 手術したところ, 現在では極めて稀な日本住血吸虫卵による腫瘍であった 1 例を経験したので報告する。

症例, 49 才, ♂, 農業

主訴, 血便並びに排便困難

既往歴, 8 年前落馬により頸椎損傷をうけ, 歩行障害あり, その後, ほとんど農作業に従事していな